

宇都宮市立横川中央小学校 第4学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で学校の授業の予習をしている。」の肯定割合は65.1%で県より9.1ポイント上回っている。「家で学校の授業の復習をする。」の肯定割合は72.3%で県より8.7ポイント上回っている。家庭での学習習慣は、概ね良好である。今後も家庭と連携・協力しながら、家庭学習の習慣化を図っていききたい。

○「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい。」の肯定割合は77.1%で県より10.9ポイント上回っている。「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報を得ている。」の肯定割合は77.1%で、県より14.9ポイント上回っている。日頃より主に社会科や総合的な学習の時間などで、図書室の本やパソコンを利用することが習慣化されていて、児童一人一人が、学習に対してやる気をもって取り組んでいる姿がうかがえる。今後も、この前向きな気持ちを大切にしながら、学習環境や学習形態を考えていきたい。

○「授業を集中して受けている。」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。」「学校のきまりを守っている。」「学校での役わりや係の仕事にせきになをもって取り組んでいる。」の肯定割合はすべて90.0%を上回っている。学校のきまりを守りながら、楽しく充実した学校生活を送っている児童が多いことがうかがえる。

○「時間を上手に使うことを、心がけている。」の肯定割合は86.7%で、県より9.5ポイント上回っている。「自分のよさを人のために生かしたいと思う。」の肯定割合は90.4%で、県より3.4ポイント上回っている。今後も、自己肯定感を高めながら、将来への向上心を大切にすることができるよう支援をしていきたい。

○「家でのきまりや約束を守っている。」の肯定割合は94.0%で、県より6.7ポイント上回っている。「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる。」の肯定割合89.2%で、県より5.4ポイント上回っている。家庭内の親子の良好な関りがうかがえる。

○「次の教科などの授業の内容はよく分かりますか。」の質問では、社会、算数、理科の学習における肯定割合が、県の割合とほぼ等しいか県よりも上回っている。3教科の学習が好きな児童が多く、授業の内容についてもよく理解していることが分かる。

○「分からない国名や地名があったら、インターネットや地図帳などを使って調べている。」の肯定割合は74.7%で、県より10.8ポイント上回っている。今後も、授業や家庭学習で計画的に辞書を活用したり、社会科の学習で地図帳をたくさん使って国名や地名を調べるようしたりするなど、自分から進んで国語や社会の問題について調べたり考えたりすることができるようにしていきたい。

●「授業で分からないことがあると、先生に聞くことができる。」の肯定割合は68.6%で、県より5.2ポイント下回っている。声掛けを多くし、励ましたり賞賛したりして教師に気軽に聞くことができる雰囲気を作り出すようにすることで、達成感や成就感を味わわせるようにし、児童一人一人の学習に対する意欲や自信につなげていきたい。

●「家で、テストでまちがえた問題について勉強をしている。」の肯定割合は74.7%で県より8.3ポイント上回っているものの、「学校の授業時間以外にふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。」の質問では、「全くしない。」と答えた割合が20.5%で、県より3.5ポイント上回っている。昨年度までは感染症対策として図書室の利用に制限があったが、今年度から、自由に図書の貸し出しができるようになったので、読書の楽しさやおもしろさを伝える取組を継続していくようにしていきたい。